

「香川でICTと地域活性化セミナー」を開催

四国総合通信局(局長:川村 一郎)は、香川大学、香川県及び高松市などとともに、令和元年12月17日(火)、香川大学(幸町北キャンパス)で「香川でICTと地域活性化セミナー」を開催し、地方公共団体、ICT関連企業などから90名が参加しました。セミナーの概要は次のとおりです。

第1部 ICT/IoTを活用した地域課題への取組 第1部は、四国で活躍する地域情報化アドバイザー6名が、各専門分野における取組を紹介しました。

大辻 雄介 氏 (特定非営利活動法人SOMA 副代表理事)

人口減少対策として取り組まれた、島根県海士町島前高校の「高校魅力化プロジェクト」について紹介。ICTを活用して県外の高校生とつながったり、島外の大学生に勉強を教えてもらったりするなど、ICTの活用は調べ学習に付加価値を付け、多様な価値観をつなぎ、学力向上に結びつけることができる効果や可能性があるとの説明がありました。

岡本 真 氏 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役)

高松市の図書館の魅力向上支援や大阪市立図書館の地域資料のオープンデータ化、クラウドファンディングを活用したブックカフェプロジェクトの支援等について紹介。デジタルアーカイブの利用や、情報拠点づくり(図書館等)など地域の情報を発信するポイントについても説明がありました。

坂本 世津夫 氏 (愛媛大学 社会連携推進機構 教授)

「スーパージェネラリスト」になりうる人材や能力の発芽を目指した教育を行っている「西予開成塾」や愛媛大学地域協働センター南予の取組等を紹介。「西予開成塾」は古い施設を活用して行っており、授業内容ではプログラミング教育にも注力しているとの説明がありました。

隅田 徹 氏 (株式会社えんがわ 代表取締役社長)

サテライトオフィスで行っている仕事内容や環境、「まちぐるみ古民家ホテル」の取組等を紹介。サテライトオフィスは働き方の選択肢を増やすために開設したことや、地域に根ざした景観や空間を活用したまちづくりとして、丹波篠山市で行っている町全体を一つのホテルにする取組等について説明がありました。

中川 斉史 氏 (東みよし町立足代小学校 副校長)

徳島県東みよし町にある足代小学校で行っているプログラミング授業や、小学生がICTを活用して作成した冊子、またICTを活用した教職員向け情報共有方法等を紹介。ICTを活用することで小学生が地域のことをより知る機会を創出したり、教職員業務の効率化ができること等の説明がありました。

横石 知二 氏 (株式会社いろどり 代表取締役社長)

徳島県上勝町で行っている農業へのICT利活用の取組を紹介。SNSやタブレットを活用しリアルタイムの情報を発信することにより「必要な時に必要なものを必要なところへ出荷する」仕組みを構築し、かつ生産者の販売意欲を向上し、コミュニティをつくることなどICTがもたらした効果について説明がありました。



【第1部 セミナーの様相】

第2部 分科会

参加者とアドバイザーがテーマごとに分かれ、地域で抱えている課題や取組内容について意見交換を行いました。このうち、地域情報化をテーマにした分科会では、資金調達方法やクラウドファンディングを活用した地域の情報拠点づくりなどについて議論されました。

セミナー後のアンケートでは、「サテライトオフィスや教育現場でのICTの活用事例を知ることができて参考になった。」「様々なICTの活用事例について知ることができ視点が広がった。」などの声が寄せられました。



【第2部 分科会の様相】